

2016年7月5日掲載

「最良のチームワーク」

間もなくリオデジャネイロ五輪が開催となる。個人競技は個々の能力発揮が大事であり、団体競技ではチームの中で自分がどう行動すべきか、全体を見て結果を出す必要がある。

私は現在、札幌市内の大学で講師をしており、主に医療系の学生を受け持っている。授業のテーマは「チームワーク」で、さまざまなワークを体験しながら社会人になったときにチームとして必要な能力を磨いてもらっている。特に医療分野では今、「チーム医療」として多様な分野の人とチームを組んで患者さんに十全な治療やケアする流れがあり、そのためよりレベルの高い協働やコミュニケーション能力も求められている。

仕事は常にチームで動く。以前、テレビ局在勤時に夕方のニュース番組を担当していたが、画面を通して見えるのはアナウンサーだけである。しかしその裏には記者、カメラマン、編集者、営業担当者など多くの人たちの力によって一つの番組が作られていた。

チームワークが良いとは、意見を言い合って最良の方策を導き出すこと、目標達成のために個々の役割を全うすることであると考えている。何かプロジェクトを行うたびに気づくのは、一人では何もできないということだ。しかしチームならできる可能性が広がる。チームで物事を成し遂げた達成感は何ものにも代え難い。今後も自分の役割を全うし、対等な立場でコミュニケーションを取って最良のチームワーク構築につなげていきたい。